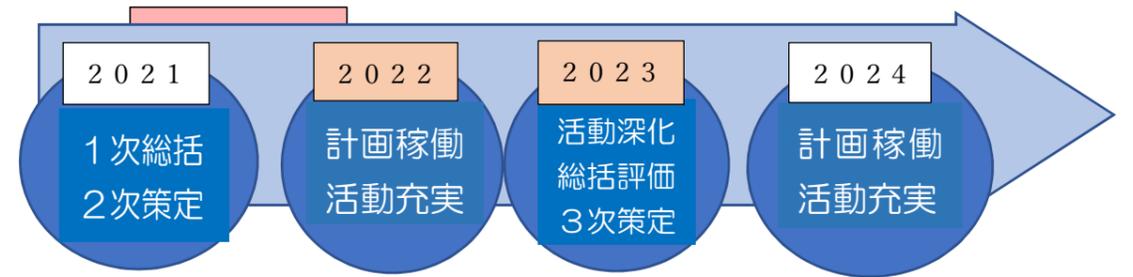


大宮自治活動計画（おおみやaiプラン）

ふれあい ささえあい ありがとうのまち

『ふれあい』 = 人と人のふれあいのみならず、行政やNPO,企業などとの連携協働を、
 『ささえあい』 = 隣近所を始めとする大宮地区内のささえあい、行政などとのささえあい、
 『ありがとう』 = ふれあい・ささえあうすべての人・組織やものにお互いに感謝することです。



大宮のビジョン
住民アンケートから集約

ビジョン実現のための目標
ゴールめざし、大宮自治活動計画へ展開するターゲット

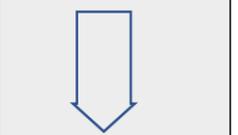
自治活動計画への展開（事例）
分野別の「部会」へ編成

活動計画を
分野別の
部会へ編成

みんなで創る
安全安心なまち

- ①地震・風水害などに柔軟で強靱なまちづくり
- ②すべての人を対象とする防災の体制づくり
- ③防犯に強く全世代に安心なまちづくり
- ④明日の地域防災防犯を担う人づくり

- a. 備災・防災・減災につながる啓発活動と訓練の実践
- b. 指定避難所・自治会避難場所・事業所等の運営体制の整備
- c. メーリングシステムなど災害情報発信の仕組みの充実
- d. 避難行動要支援者への支え合い「おおみや安心システム」の稼働
- e. 道路拡幅に伴う横断の安全確保、「ゾーン30」の拡大
- f. 防災士会、地域安全推進委員等の人材の発掘育成



- 【分野別部会】
- 1 自治環境
 - 2 安全
 - 3 福祉
 - 4 育ち支援
 - 5 情報人財
 - 6 企画財務
 - 7 安心安心推進会議
 - 8 人権教育推進委員会

住み続けたい
健康で明るいまち

- ⑤今ある交通や公共施設等の資源を生かしたまちづくり
- ⑥佐保川親水公園を拠点とした安心して憩える空間づくり
- ⑦環境整備され、にぎわいや活気のあるまちづくり
- ⑧多世代が集い、ハンディーを感じさせない居場所づくり
- ⑨医療・介護などのサービスが充実したまちづくり
- ⑩社会福祉法人/NPO・企業等との協働によるまちづくり
- ⑪共生社会に呼応し、多様性を認め合う心豊かなまちづくり

- g. 大宮版「ぐるっとパス」の運行（通園・通院・買物 etc）
- h. 親水公園の利活用、堤防道路の安全化など施策の推進
- i. 大宮クリーンアップ作戦（自治会から全域視野に拡大）
- j. コロナ禍を超え、新常态に適応した「にぎわい」の創出
- k. 出会い、ふれあいの場づくりと高齢者支え合いへの支援
- l. 子育て世代等若年層へのアプローチによる集団づくり
- m. 「おおみや安心システム」による安否確認、双方向通信
- n. 地区内医療機関・介護機関・担当行政機関等との連携
- o. 地域包括ケアシステム・認知症ケアへの取り組み
- p. 分野別課題解決組織（部会）への参画呼びかけと協働
- q. 関係機関と連携した人権尊重による共生諸施策の推進



PLAN
DO
CHECK
ACTION
進捗管理し
評価を実践！

子育てと
教育のまち

- ⑫コミュニティスクールの実をあげる地域と人づくり
- ⑬通わせたい学校・園づくりを支援する体制づくり
- ⑭やさしく楽しく安心して子育てができるまちづくり
- ⑮知育・徳育に秀でた若者の育成がなされる環境づくり
- ⑯地域コミュニティの維持発展を支える人づくり
- ⑰自ら生涯現役を目指せる舞台のあるまちづくり

- r. 運営協、教育協、放課後教室、バブルホームとの一元化指向
- s. 地域一体型放課後子ども居場所づくり、学び舎プロジェクト
- t. 幼保小の施設維持管理業務の受託と教職員の業務サポート
- u. 「おはようみまもり、おかえりみまもり」の重層的見守り
- v. 子育て世代同士が集える場所や機会づくりと動機付け
- w. 子ども食堂、塾、遊び空間開設等による居場所づくり
- x. 子どもたちへの社会経験の機会提供による生きる力養成
- y. 地域デビュー講座の開設など社会参加への機会づくり

ビジョンの実現へ、活動計画を遂行するための組織・企画・財務・人財・広報などの整備

活動分野別の部会制と支えるスタッフ部局の設置、事務局の充実

第3次大宮自治活動計画（おおみや ai プラン） *第2次からの変更項目

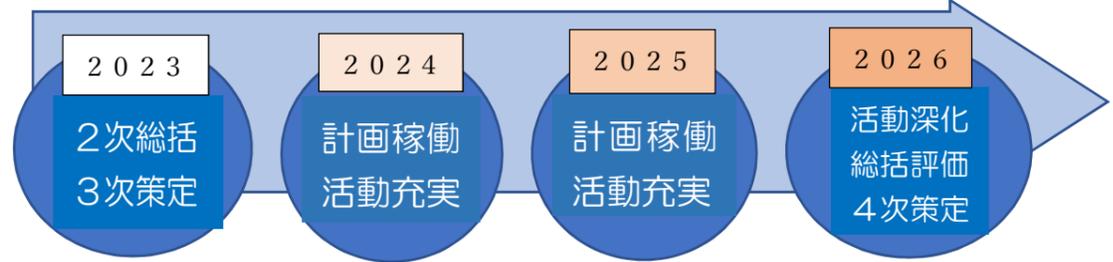
名 称	第2次大宮自治活動計画	第3次大宮自治活動計画	備 考
計 画 期 間	2022～2023（2年間）	2024～2026（3年間）	2年⇨3年
ビジョン実現のための 目 標	⑤ <u>今ある交通や公共施設等の 資源を生かしたまちづくり</u>	⑤ <u>地域にある公共施設等の 資源を生かしたまちづくり</u>	交通は削除
自治活動計画への展開 （事例）	c. <u>メーリングシステムなど 災害情報発信の仕組みの充実</u> e. <u>道路拡幅に伴う横断の安全確保、 「ゾーン30」の拡大</u> f. <u>防災士会、地域安全推進委員等の 人材の発掘育成</u>	c. <u>情報通信技術などを活用した 災害情報発信の仕組みの充実</u> e. <u>道路拡幅に伴う横断の安全確保、 通学路の安全策の拡大</u> f. <u>防災士会、地域安全推進委員等の 人材の発掘、研修育成</u>	HP、おおみや安心システム、グ ループライヴを総称 「ゾーン30」を変更 研修を追加
	g. <u>大宮版「ぐるっとパス」の運行 （通園・通院・買物 etc）</u> j. <u>コロナ禍を超え、新常態の適応した 「にぎわい」の創出</u> p. <u>分野別課題解決組織（部会）への 参画呼びかけと協働</u>	g. <u>人が集まり情報基地となる 地域コミュニティ拠点づくり</u> h. <u>街区公園等の一括自主管理受託による 適確な環境整備</u> j. <u>開発行為に対する住環境整備改善面 からの適確な対応</u>	ニーズ把握、公民館利活用 アウトソーシング協議中 活発化する開発行為に対処
	r. <u>運営協、教育協、放課後教室、 バンビホームとの一元化指向</u> s. <u>地域一体型放課後子ども 居場所づくり、学び舎^①以外</u> t. <u>幼保小の施設維持管理業務の受託と 教職員の業務サポート</u> w. <u>子ども食堂、塾、遊び空間開設等 による居場所づくり</u>	r. <u>学校運営協議会、地域教育協議会運営 による「学び」支援活動</u> s. <u>地域一体型放課後子ども 居場所づくり、「育ち」支援活動</u> t. <u>学校園の施設維持管理業務の受託と 教職員の業務サポート</u> y. <u>上記v～xのニーズに応える公民館 など箱物の有効活用</u>	一元化は不可能と判断 「学び」と「育ち」支援 民営化による状況変化 公民館などの利活用
分野別部会	情報人財部・企画財務部	総務部（活動計画12⇨7項目）	活動計画項目を整理し統合

大宮自治活動計画（おおみや^{めい}aiプラン）

第3次大宮自治活動計画（3年計画としました）

基本理念 **ふれあい ささえあい ありがとうのまち**

『ふれあい』＝人と人のふれあいのみならず、行政やNPO,企業などとの連携協働を、
『ささえあい』＝隣近所を始めとする大宮地区内のささえあい、行政などとのささえあい、
『ありがとう』＝ふれあい・ささえあうすべての人・組織やものにお互いに感謝することです。



大宮のビジョン
住民アンケートから集約

ビジョン実現のための目標
ゴールめざし、大宮自治活動計画へ展開するターゲット

自治活動計画への展開（事例）
分野別の「部会」を編成し分担



みんなで創る
安全安心なまち

- ①地震・風水害などに柔軟で強靱なまちづくり
- ②すべての人を対象とする防災の体制づくり
- ③防犯に強く全世代にとって安心なまちづくり
- ④明日の地域防災防犯活動を担う人づくり

- a.備災・防災・減災につながる啓発活動と訓練の反復実施
- b.指定避難所・自治会避難場所・事業所等の運営体制の整備
- c.情報通信技術などを活用した災害情報発信の仕組みの充実
- d.避難行動要支援者への支え合い「おおみや安心システム」の運用
- e.道路拡幅に伴う横断の安全確保、通学路安全策の拡大
- f.防災士会、地域安全推進委員等の人材の発掘、研修育成

住み続けたい
健康で明るい
まち

- ⑤地域にある公共施設等の資源を生かしたまちづくり
- ⑥佐保川親水公園を拠点とした安心して憩える空間づくり
- ⑦環境整備され、にぎわいや活気のあるまちづくり
- ⑧多世代が集い、ハンディーを感じさせない場づくり
- ⑨医療・介護などのサービスが充実したまちづくり
- ⑩社会福祉法人/NPO・企業等との協働によるまちづくり
- ⑪共生社会に呼応、多様性を認め合う心豊かなまちづくり

- g.人が集まり情報基地となる地域コミュニティ拠点づくり
- h.街区公園等の一括自主管理受託による適確な環境整備
- i.親水公園の利活用、堤防道路の安全化など施策の推進
- j.開発行為に対する住環境整備改善面からの適確な対応
- k.大宮クリーンアップ作戦（自治会から全域視野に拡大）
- l.出会い、ふれあいの場づくりと高齢者支え合いへの支援
- m.子育て世代等若年層へのアプローチによる集団づくり
- n.「おおみや安心システム」による安否確認、双方向通信
- o.地区内医療機関・介護機関・担当行政機関等との連携
- p.地域包括ケアシステム・認知症ケアへの取り組み
- q.関係機関と連携した人権尊重による共生諸施策の推進

子育てと
教育のまち

- ⑫コミュニティースクールの実をあげる地域と人づくり
- ⑬通わせたい学校・園づくりを支援する体制づくり
- ⑭やさしく楽しく安心して子育てができるまちづくり
- ⑮知育・徳育に秀でた若者の育成がなされる環境づくり
- ⑯地域コミュニティの維持発展を支える人づくり
- ⑰自ら生涯現役を目指せる舞台のあるまちづくり

- r.学校運営協議会、地域教育協議会運営による「学び」支援
- s.地域一体型放課後子ども居場所づくり、「育ち」支援活動
- t.学校園の施設維持管理業務の受託と教職員の業務拡大
- u.「おはようみまもり、おかえりみまもり」の重層的実施
- v.子育て世代同士が集える場所づくりと参画への動機付け
- w.子どもたちへの社会経験の機会提供による生きる力養成
- x.地域デビュー講座の開設など社会参加への機会づくり
- y.上記v～xのニーズに応える公民館など箱物の有効活用

ビジョンの実現へ、活動計画を遂行するための組織・企画・財務・人財・広報などの整備

活動分野別の部会制と支えるスタッフ部局の設置、事務局機能の充実

2 安全部会 ～みんなで創る安全安心なまち～

【部長； 】

目標期間		活動計画への展開	計画番号	【第2次計画の活動総括】	第3次自治活動計画（取り組み）		
短期	長期				2024計画	2025計画	2026計画
(1) 備災・防災・減災・防犯につながる啓発活動と反復実施（①～④）							
○		備災・防災・減災・防犯につながる広報活動	①	広報誌「きずな」の各号に継続記載	広報誌「きずな」への継続的な記事提供と備災・防災・減災・防犯の啓発・啓蒙活動をポスター等で掲示		
	○	地区内危険個所の点検と整備と整備呼び掛け、働き掛け	②	大宮小PTAより登下校時の危険個所の情報提供有り 避難ルート・認知マップは未着手	自治環境部会・PTA等への情報提供の協力を依頼、情報の収集及び確認・整理または情報の提供	地区の危険個所の情報の提供 危険個所に付いて行政との協議	
○		一時集合場所を活用した避難訓練	③	地区防災訓練時、各自治会へ一時集合場所を活用した集合を 通知。県コンベンションセンター（避難場所）の避難訓練に参画	今後の防災防犯活動のあり方について検討（自治協議会各部会の協力不可欠） 安全部会の活動の中核とする【継続的な企画・立案に伴う訓練・研修・講演の実施・一時集合場所の活用】		
○		定期的な研修・講習・訓練の実施、家族会議の推奨	④	不定期ではあったが研修・講習・訓練を実施			
—	—	河川・堤防清掃の継続（佐保川・菰川）	⑤	自治環境部会に協力し佐保川清掃（親水公園）に協力	自治環境部会に協力するのが必然であり活動計画から抹消		
—	—	防災・防犯家族会議の推奨	⑥	広報誌「きずな」に家族会議の推奨記事を記載	（1）①、③、④に準ずるため、（1）④に追加記入し本行抹消		
(2) 指定場所・自治会避難場所・事業所等の運営体制の整備（①、②）							
○		一時集合（避難場所）場所・避難所の周知、徹底	①	地区防災訓練時の一時集合場所活用による周知、徹底	防災訓練等を利用し、各自治会・自治協加入マンション等に周知徹底。「きずな」・チラシ・通知等による周知		
	○	地域内全避難所の運営体制・環境整備	②	各避難所担当責任者による災害BOXの確認、点検。 大宮地区避難場所運営マニュアル（コンベンションセンター版）を作成	一次避難所・二次避難所に適合する簡易マニュアル（現行マニュアルを参照）の検討、作成準備 行政と要検討・二次避難所男女共同参画センター閉鎖に伴う代替避難所	マニュアルの作成	
	○	避難所内に生活用水を確保	③	井戸掘削準備金の積み立ては継続中	今後も井戸積立金は継続		
○		防災倉庫の定期点検・維持管理	④	2023年度点検・棚卸による薬品の期限切れ入れ替え作業を実施	防災倉庫の管理・整理・点検・棚卸しの継続実施。必要防災備品の検討による補充、購入		
(3) 災害情報発信の仕組みの整備と充実（①～③、⑧）							
○		災害情報発信・伝達体制の整備と充実	①	安全部会からの情報発信は0件 災害時、安全部会から「安心システム」への伝達方法確認	地域の本格的な情報発信の基盤である「おおみや安心システム」推進会議に協力し加入者の増員を図る 奈良市配信の「奈良市防災情報」の利用・活用推奨		
(4) 避難行動要支援者への支え合い・見守り体制の整備と充実（①～④、⑧～⑩）							
	○	自力避難が困難な避難行動要支援者の避難行動プランを作成	①	行政からの情報、支援・講習を得られず未着手	避難行動要支援者避難行動個別計画・支援プランを行政および各自治会に協力を得て作成準備 避難行動要支援者に「安心システム」の加入促進	避難行動支援プランの作成	
○		避難行動要支援者の継続的な見守り	②	9月・2月に往復葉書発送し状況を把握	福祉部会が見守りの体制を構築するまで、現行履行している葉書による見守りの継続		
(5) 医療機関・介護機関・行政・企業との連携体制の構築（②、⑨～⑪）							
	○	医療・介護機関との医療援助等連携体制の構築	①	未着手	行政からの情報収集・指導での検討	行政指導で協定等の締結準備	行政指導で協定等の締結
	○	行政・企業（スーパー等）との連携・協調の推進	②	未着手		行政の情報収集・指導で構築	
(6) 道路拡幅に伴う横断の安全確保、通学路安全策の拡大（②、⑭）							
	○	道路拡幅に伴う横断歩道の安全確保	①	進展なし	西九条佐保線対策委員会・自治環境部会に協力		
	○	通学路の安全策の確保	②	「ゾーン30」は「ゾーン30プラス」に移行しつつある	「ゾーン30プラス」等の通学路安全策の検討・申請等では自治環境部会に協力		
(7) 防災士、地域安全推進委員等の地域防災防犯活動を担う人材発掘、育成（①～④）							
○		防災士の人材発掘と育成、訓練等への参画の促進	①	2022年受講者抽選で該当者なし・2023年受講者1名	安全部会に協力を得られる人材の発掘、受講要請の推進、現行の防災士に安全部会への協力要請（研修講師、訓練への参画等）		
○		地域安全推進委員の人材発掘と育成、協調体制の構築	②	地域安全推進委員会代表者会議に協力	地域安全推進委員会代表者会議に協力を継続（委嘱期間3年）		
○		自主防災活動組織員の人材発掘と育成	③	安全部会事務局員3名増員、減員無し	安全部会事務局員の人材確保、事務局員の防災士資格修得など防災意識の向上		
(8) 見守り等の奨励及び地域内防犯設備の充実（②、③、⑬、⑭）							
○		声かけ、鍵かけ運動の推奨、「のぼり」の掲出継続	①	「きずな」、ポスター掲示で継続、「のぼり」の維持管理 を継続	声かけ、鍵かけ運動の推奨を継続	今後の「のぼり」継続の検討	
○		安全パトロール等の継続	②	自転車パトロール・定点見守り・季節夜間見守り継続、実施	PTA・青バト・民生・安全部会の早期協議による負担 軽減に向けた見守りの是正	4者協議での結果を踏まえて継続、実施の検討	
	○	防犯カメラ・防犯灯の充実	③	未着手・本年度防犯カメラの設置は無し	防犯カメラの設置適用条件の確認。（1）②の情報などを基に設置場所を行政と協議、要請		

凡例＝短期；1～2年、長期；3年以上

2023.12.14

3 福祉部会 ～住み続けたい健康で明るいまちづくり～

【部長； 】

目標期間 短期 長期	活動計画への展開	計画番号	【第2次計画の活動総括】	第3次自治活動計画（取り組み）		
				2024計画	2025計画	2026計画
(1) ふれあいの場づくりと高齢者支え合いの支援（⑦⑧⑨⑩）						
○ ○	各団体の個々の高齢者福祉活動を尊重し、お互いに支え合う体制を作る	①	各団体では高齢者福祉活動を続け、出来ることは協力し合った。	お互いに支援し合う体制を作る。		
○ ○	高齢者の地域福祉の拠点づくりをして各団体のサロンの場を広げる。	②	各団体では、親睦だけでなく健康防犯など様々な活動が出来た。	各団体で様々なテーマの拠点づくりをする。 敬老の日に合わせ大宮小学校でイベントを開催する		
○ ○	高齢者のふれあいの場を提供し、個々の生きがいに繋げる。	③				
	○ ①高齢者生きがいづくり、地域事業を委託し、現金収入を得る。	③-①	高齢者主体にしみんだより等配布事業で実践中	高齢者主体にしみんだより等配布事業で実践中		
○	②大宮農園で健康と生きがいづくりの機会をつくる。	③-②	高齢者に生きがいづくりの機会になっている。子ども園の園児達を農園に招待し、交流が出来た。	園児と共に地域との交流を図り、生きがいづくりに繋げる		野菜販売で地域交流
○	③放課後子ども教室に参画する。	③-③	幾つかの団体が音読朝ごはん、校庭開放に参画している。	音読朝ごはん、校庭開放にスタッフとして参画する。		
(2) 多世帯が集い、ハンディーを感じさせない居場所づくり（⑧⑩）						
	○ 既存の企業・商店・飲食店との協働による機会・場所づくり	①	子ども食堂（社協）で部分的に実施中	状況調査をしていく。（社協）「おでかけサロン」との連携		
	○ 空き家の利活用の方法について、行政と連携する。	②	未着手	行政の意向確認、法的課題などの勉強	空き家利用の出前講座の検討実施	
(3) 地域内医療機関・介護期間・担当行政機関との連携（⑨⑩）						
	○ 大宮地区内医療機関・介護機関との協働を図る	①	各団体ではワークショップや講座を開催し、連携を図った。	集会の場への招聘アプローチ、医師会との意思疎通		
	○ ①見守り・ふれあい、サロン活動やワークショップ・講座の開催への協力	①-①	未着手	関係機関と連携した講座を開催		
	○ ②地域のイベントでの協力	①-②	大宮まつりで健康チェックのコーナーがあり多くの住民が利用した。	大宮まつりで、安全、健康の協力を図る。		
(4) 地域包括ケアシステム・認知症ケアへの取り組み（⑨⑩）						
	○ 見守り・ふれあいサロン活動やワークショップ・講座の開催への協力（3）と共通	①	各団体では、認知症ケアの取り組みとしてワークショップや講座を開催した。	医療機関等と連携し、認知症予防の講座を開催する。		
	○ 地域のイベントでの協力（3）と共通	②	未着手			
	○ 体験型のワークショップを開催する。	③	未着手			
○ ○	高齢者のフレイル（虚弱）予防の活動を展開する。	④	障がい者スポーツ「ポッチャ」を実施した。	「ポッチャ」を高齢者だけでなく、地域に対象を広げスポーツとして浸透を図る。		ポッチャの大会の実施
	○ フレイルサポーターを養成する。	⑤	未着手			
(5) 共生社会の呼応、多様性を認め合う心豊かなまちづくり（⑪）						
○ ○	誰もが安心して生きられる地域づくりを目指す。	①	未着手	福祉部で手話の勉強会を開催し、出来れば地域に広げる。	手話の勉強会を地域に広げる。	
(6) 「おおみやあんしん」による安否確認、双方向通信（⑦⑧⑨⑩）						
○ ○	「おおみや安心システム」の構築による平常時の見守り	①	9月、2月に避難行動要支援者へ葉書を発送し、状況把握を試みた。	安全部との協調、毎月の安否確認メールの実施		
	○ 「おおみや安心ネット」構築参画	②	未着手	「おおみや安心システム」の登録者の増員に協力	「おおみや安心システム推進会議」との連携	

4 育ち支援部会 ～子育てと教育のまちづくり～

【部長；矢本】

目標期間		活動計画への展開	計画番号	【第2次計画の活動総括】	第3次自治活動計画（取り組み）		
短期	長期				2024計画	2025計画	2026計画
(1) みまもり意識の向上と実践（おはようみまもり・おかえりみまもり） ③④							
○	○	みまもり意識の向上と情報宣伝活動	①	子ども安全の家の旗 安全マップの作成と内容更新	子ども安全の家の旗の設置について現状を把握し、今後のあり方を考える	2024年度の話し合いを基に方針を決め、旗の設置・マップの作成	単年度ごとに旗設置の現状把握とメンテナンスをする
				登下校中の安全見守りを実施	登下校中の安全見守りの仕方を団体間で検討	無理なく長く継続可能な安全見守りを実施	
				PTAによる見守りの旗を作成	保護者への意識付けと安全見守り講習を検討	保護者向け安全見守り講習を実施し、見守り参加を促す	
○	○	子どもを守る防犯活動の実践	②	幼稚園（こども園）での降園指導	小学校一斉下校時の見守り・立哨ポイントの見直し		
				小学校一斉下校時の見守り、新1年生の下校指導	入学後すぐ安全に下校できるよう、新1年生の下校指導を実施する		
				防犯教室の実施（キッズおおみや）	自分の身は自分で守る、子ども向け防犯教室を実施する		
(2) 子育て世代が気軽に集い交流できる場所の提供 ⑬⑭							
○	○	交流の場としてのフリースペース等の活用と周知	①	未就園児対象「おいでよゆめのくに」の実施（月2回）	未就園児の保護者を対象に、子育て情報の共有の場を提供する		
○	○	交流の場としてのイベント実施	②	保護者参加型ドッジボール教室の開催（年4回 キッズおおみや）	保護者参加型の活動を実施し、保護者同士の交流・保護者と地域の交流の場を提供する		
				保護者対象給食体験会の実施（小学校PTA）			
				ラジオ体操の実施（8日間 キッズおおみや・社協）	第32回大宮まつり	第33回大宮まつり	第34回大宮まつり
(3) 制服・フォーマルウェアリユース事業・不用品交換事業 ⑭							
○	○	制服・フォーマルウェア、レンタル事業	①	幼稚園（こども園）・保育園、小学校入学式で回収分を提供 個人懇談週間を利用し、リユース品の回収	各家庭で不要になった学用品・制服・フォーマルウェアを回収し、次の世代に提供する		
○	○	不用品交換事業	②	ぶつぶつ交換会の実施（社協）	年に1～2回程度、イベント内で不用品交換のブースを設置する		
(4) 学習支援とこども食堂・公民館などを利用した居場所づくり ⑭⑮							
○	○	学習支援	①	おおみや未来塾の実施	長期休暇中に学習する場所・機会を提供する		
				小・中・高校生を対象とした学習支援教室の実施（社協）	大学生や大学を卒業した若者と共に、高校卒業まで通うことのできる学習支援教室を実施する		
○	○	子ども食堂	②	長期休暇中に店舗と協力し、こども食堂を実施（社協）	給食のない長期休暇中に食事を提供する機会を作る		
				学校のある月曜日に、おんどく朝ごはんを実施（キッズおおみや）	朝から元気に過ごせるように、学校内で朝ごはんを提供する		
○	○	公民館などの施設を利用した居場所づくり	③	夏休みに宿題をする時間と場所を提供	公民館と協働し、子どもたちが学習できる場を提供する		
(5) 子どもたちへの社会経験の機会提供 ⑮⑯							
○	○	子どもたちの社会体験	①	地域内の畑を利用した「いもほり」の実施	学校園では体験することのできないことを地域の協力を得て経験してもらい、体験格差をなくす		
				②	キッズニア in ハロウィンフェスでの模擬店運営	模擬店運営を通して、子どもたちが主体となって取り組み学習するアクティブラーニングを実施する	
(6) 学校園のサポートニーズ把握とボランティアによる支援 ⑬⑭⑮							
○	○	教職員の授業等のサポートニーズ把握と支援態勢をつくる	①	学校園のニーズに応えられるよう、学校園サポートのLINEアカウントを作成し地域・PTAに支援を呼びかけた	学校園との連絡を密にし、ニーズに応える より多くのサポーターを募り、サポーターの負担が大きくなるよう配慮する		
○	○	学校運営協議会や地域教育協議会への参加	②	地域コーディネーターとして会議・活動に参加	複数人の地域コーディネーターで役割分担し、会議や活動に参加する		
○	○	地域で決める学校予算事業の実施・協力	③	授業サポートの実施、大学生参画事業に協力	学校現場や子どもたちに何が必要なかを年度毎に精査し、活動に結びつける		
○	○	環境整備ボランティアの充実	④	草引きの実施、図書ボランティアの実施	より多くのボランティアを募り、学校園の環境整備に協力する		

凡例＝短期；1～2年、長期；3年以上

2023.12.15.

1 自治環境部会 ～地域活性化と居住環境の維持・改善向上～ 【部長； 〃】

目標期間		活動計画への展開	計画番号	【第2次計画の活動総括】	第3次自治活動計画（取り組み）		
短期	長期				2024計画	2025計画	2026計画

(1) 西九条佐保線計画、大宮通り新ホテル・交流拠点事業、その他開発行為への対処 (⑤⑦⑩)

○	西九条佐保線への住環境観点からの対処、地権者不安解消	①	要望事項の協議難航、地権者交渉停滞気味	大宮地区区間は県土地開発公社に業務移管。要望事項の見直し無制限に交渉に応じない姿勢堅持		
○	生活道路機能維持など地域コミュニティの人流確保	②	横断歩道・信号機設置など条件提示、履行を要請中	要望事項に対する進捗協議の続行。特に三条添川町内横断歩道設置については、文書による確約回答を要請		
○	大宮通り新ホテル・交流拠点事への対処、事業者との連携	③	TM協議会の定期開催、一時避難場所の運営スタート	ポストコロナの運営状況を注視し、地域活性化と観光公害の未然防止の両面から協議続行。タウン紙の発行		
○	集合住宅・ホテル・事業所等の開発行為への的確な対応	④	用地の高度化利用増加、業者対応への遅れあり	開発業者との初期段階からの影響緩和協議。完成後の自治会結成や加入など、良好な隣人関係への誘導に注力		

(2) JR奈良駅西のにぎわい創出、JR奈良駅西まちづくり協議会の開催 (⑤⑧⑩)

○	運営協議会の定期開催と実効性あるにぎわい策の企画立案	①	コロナ禍で集客行事は自粛、令和5年度下期から復活	にぎわい創出へ運営協議会で具体的に協議	運営協議会で具体的に協議	運営協議会で具体的に協議
○	「大宮まつり」等のイベントを起爆剤とするにぎわい創出	②	第31回「大宮まつり」の盛況で次への展開見通し	第32回「大宮まつり」などによる展開	第33回「大宮まつり」などの展開	第34回「大宮まつり」

(3) 佐保川親水公園の利活用、遊びの空間「街区公園」等の整備充実 (⑥⑦⑧)

○	親水公園を中心とした集客事業等の開催による利活用	①	堤防沿いに開発行為もあり、見合わせ中	開発行為の推移を見ながら県・市と利活用策の協議。花見イベントなど計画		イベントなどの実施
○	地区内「街区公園」の一括自主管理、環境整備の充実	②	行政側と一括自主管理受託の協議開始	行政側と一括自主管理受託の協議継続	一括自主管理体制と適確な整備	一括自主管理による整備
○	西九条佐保線の余剰地や空き家跡などを視野に小公園化	③	具体的な進展は不透明、今後の課題	西九条佐保線計画の進捗に合せ俎上にのせる。空き家利用については、市住宅課などとのすり合わせを行う		

(4) 生活環境の美化と道路安全化へのソフト・ハード両面からの取組 (③④⑦⑩)

○	全員参加型の佐保川・菰川クリーンキャンペーンの実施	①	花見シーズン（R5.4.1）に復活実施	時機を判断しクリーンキャンペーンの実施	クリーンキャンペーンの実施	クリーンキャンペーン実施
○	地区・ブロック・自治会単位によるクリーン・アップ活動	②	自治会ごとに一部実施、全体に拡がらず	一斉実施日の設定など自治会と協議	参加自治会、自治会員の増加	地域全域に拡大実施
○	危険箇所の安全点検改修、セーフティゾーン拡大等の要請	③	関係者による合同点検実施、暫時改修中	点検改善事項の関係先へのフォローアップ	再点検の実施と改修要望	再点検の実施と改修要望
○	横断歩道設置とスクランブル化など生活道路の安全化整備	④	佐保川堤防道路の歩車道分離などを県・市に要望	要望事項の再確認と追跡	歩車道分離実現化へ関係先と協議	歩車道分離実現
○	犬の散歩、猫への餌やり禁止などルールとマナーの徹底	⑤	広報紙、チラシによる啓発など継続中	広報紙・チラシ等による啓発、マナー徹底へ	広報紙・チラシ等による啓発続行	広報紙・チラシ等の啓発

(5) 地域とともにある学校園・通わせたい学び舎への参画と協働 (⑫～⑮)

○	学校運営協議会、地域教育協議会運営による「学び」支援	①	運協・教育協への参画協働、「育ち支援部」と協調	学校運営協議会等への参画で、具体的支援策の実行。「育ち支援部会」との協調による効果的実施		
○	大宮地区内幼保園の「開かれた学び舎」づくりへの関与	②	保育園・幼稚園の民営化実現、関与策について協議	幼児の保育と教育の充実による登園児童の増加をめざし、白藤学園などと支援関与方策について協議実践		
○	学校園の施設維持管理業務の受託と教職員の業務サポート	③	市へ受託意志の表明、制度設計を検討依頼	再度、市へ受託意志の表明、制度設計を検討依頼		

(6) 地域活性化への取組、基盤組織として自治会機能の発揮 (⑪⑯⑰)

○	大宮地区自治協議会運営への主導的役割の発揮	①	事務的機能でのイニシアティブ向上、一体運営試行	理事選出、事務機能強化、理事会・総会対応、安全部会との事務処理を始め一体的運営の実施		
○	意志疎通の活発化と情報共有による自治会活動の円滑実施	②	各種会議と研修の実施、ブロック編成定着	総会、自治会長会議、役員会などによるタイムリーな情報提供と共有。ブロック編成による活動円滑化		
○	掲示板の整備と一体管理など有効活用（総務部と連携）	③	ポスター等掲示と放置状態のバラツキあり、要点検	点検と自治会長ニーズ把握（総務部会と連携）	広報媒体の見直し、一括管理方法への意見聴取と実施可否判断	
○	関係する各種団体への活動支援と協調の継続実施	④	分担金や助成金による活動円滑実施への支援	公民館グループ協議会・三笠中学校少年指導協議会・菰川環境美化協議会などへの支援と活動の協調		
○	未加入自治会員へのアプローチと情報共有、一体感の醸成	⑤	管理組合へ広報紙面や直接呼びかけ、具体的進展なし	開発段階からの加入誘導、しみんだより等配布事業の受託継続で未加入世帯への情報提供、不断の加入呼びかけ		
○	活動組織（安全部会・福祉部会等）との連携と協働の実践	⑥	自治会レベルでの活動の活発化要請	「安全部会」への支援（自治会・ブロック単位での訓練）、「福祉部会」との連携（民生児童委員との見守り他）		

凡例＝短期：1～2年、長期：3年以上

2023.12.13.

6 おおみや安心システム推進会議 ～孤立ゼロをめざし、支え合いの思いをカタチに～

【部長； 】

目標期間		活動計画への展開	計画 番号	【第2次計画の活動総括】	第3次自治活動計画（取り組み）		
短期	長期				2024計画	2025計画	2026計画
(1) 防災防犯情報発信の仕組み構築と維持①②③							
○	○	「おおみや安心システム」の構築、維持	①	セコム契約を更改した。	・運営推進の目標値が達成できない場合に備えて、コスト削減策の検討（代替システムの検討）をする。		
(2) 災害安否確認、双方向通信の充実ならびに規模拡大①②③							
○	○	「おおみや安心システム」の運営推進	①	説明会ならびにきずな、チラシによるPRを行ったが、登録者増は思わしくなかった。	・目標値の設定（最終15,000人×10%=1,500人の登録者をめざす取り組みを行う） ・達成出来ない場合は代替システムに移行する。		
					1,000人の登録を目指す	1,300人の登録を目指す	1,500人の登録を目指す
					・従前の取り組み(きずな、チラシ、各団体への呼び掛け)の継続 ・大規模な登録キャンペーンの実施（登録者に目に見えるメリット提示） ※具体的には予算を使って登録者を増やす取り組みを行う ※目標値が達成出来ない場合は無駄となる為、次年度予算35万程度をMAXと考える		
(3) 地区情報システムの確立							
○	○	「おおみや安心システム」の発展的運営	①	自治協議会他各団体の連絡・情報伝達のツール（手段）として利用を計画。	・「おおみや安心システム」本来の目的の達成を図り、目標値の達成の上で発展的運営を検討するものとする。		

凡例＝短期；1～2年、長期；3年以上

2023.12.13

7 人権教育推進会議 ～共生社会に呼応した持続発展するまちづくり～

【部長； 】

目標期間		活動計画への展開	計画 番号	【第2次計画の活動総括】	第3次自治活動計画（取り組み）		
短期	長期				2024計画	2025計画	2026計画
(1) 関係機関と連携した権利擁護の諸施策の推進（①②③）							
○	○	人権問題変化に伴う研修啓蒙活動の実施	①	ヤングケアラー人権尊重される社会DVD研修の実施	人権ゆかりの地 {ぶらり歩き} の計画実施	人権ゆかりの地 {ぶらり歩き} の計画実施	
			③	奈良少年刑務所受刑者の人権講演会の実施	人権問題についての講演の実施		人権問題の講演の実施

凡例＝短期；1～2年、長期；3年以上

2023.12.2.